

平成29年第9回定例教育委員会

平成29年9月27日(水)午後2時01分
江別市教育庁舎 大会議室

| | | | | | |
|-----|-----|-------|-----|----------|------|
| 出席者 | 教育長 | 月田健二 | 説明員 | 教育部長 | 渡部丈司 |
| | 委員 | 支部英孝 | | 教育部次長 | 萬直樹 |
| | 委員 | 橋本幸子 | | 学校教育支援室長 | |
| | 委員 | 林大輔 | | | 伊藤忠信 |
| | 委員 | 須田壽美江 | | 総務課長 | 山崎正樹 |
| | | | | 学校教育課長 | 廣田修 |
| | | | | 教育支援課長 | 松井正行 |
| | | | | 給食センター長 | 鈴木知幸 |
| | | | | 対雁調理場長 | 鈴木正春 |
| | | | | 生涯学習課長 | 天野保則 |
| | | | | スポーツ課長 | 三浦洋博 |
| | | | | 情報図書館長 | 山岸智幸 |
| | | | | 郷土資料館長 | 榎田一志 |
| | | | | 郷土資料館主幹 | 兼平健一 |
| | | | 記録員 | 総務課総務係長 | 嶋中健一 |
| | | | 傍聴者 | 1名 | |

1 報告事項

- (1) 平成29年第3回江別市議会定例会の一般質問について
- (2) 平成29年度小中学生国内交流研修事業について

2 審議事項

- (1) 平成29年議案第30号
全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載同意について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 平成29年第10回定例教育委員会の日程について

会 議 録

| | |
|----------------------|---|
| <p>月田教育長</p> | <p>(開会) ただいまから、平成29年第9回定例教育委員会を開会いたします。 本日の議事日程は、配付のとおりであります。 会議に先立ち、本日の会議録署名人を、橋本委員にお願いいたします。 それでは、議事に入ります。 1の報告事項(1)平成29年第3回江別市議会定例会の一般質問についての報告を求めます。</p> |
| <p>渡部教育部長</p> | <p>渡部教育部長お願いします。 平成29年第3回江別市議会定例会の一般質問についてご報告いたします。 教育委員会関係分は、9月13日から14日までの2日間に、4名の議員から一般質問がありました。 初めに吉本議員から、子供の貧困対策に関連して、学校の保健室との連携による子供の貧困の実態把握について及び学校歯科検診後の虫歯治療の状況と課題についての質問があり、答弁では、養護教諭を含めた学校全スタッフにより、貧困への対応も含め、全ての児童生徒の良好な教育環境の確保に努めるとともに、学校と家庭が連携し、児童生徒の口腔衛生の取り組みが、継続的かつ適切に行われるよう努めると答えております。 次に干場議員からは、化学物質対策に関連して、学校における香りへの対策についての質問があり、答弁では、これまでもシックスクール対策マニュアルに基づき、保護者の理解と協力を求めてきたが、今後も学校現場での刺激の強い製品の使用や持込みを控えるよう、適宜対応していくと答えています。 次に、清水議員から青年センターの全面改修に関連して、老朽化が進む青年センターと温水プールの改修計画について及び青年センターの運営に係るランニングコストを軽減するための方策についての質問があり、答弁では、今後スポーツ推進審議会における議論や利用団体へのアンケート調査の結果を踏まえ、青年センターを含めた市内体育施設全体の在り方について、慎重に協議を進めていくこと、ランニングコスト軽減策については、費用対効果や課題、実現性について関係機関と相談していくと答えています。 次に、相馬議員からは、コミュニティ・スクールの目指す形についてほか2件の質問があり、コミュニティ・スクールの目指す形についての答弁では、地域に支えられ、江別らしく、より一層充実・発展していくことを期待して、えべつ型コミュニティ・スクールという名称を採用したこと、学校運営委員会では、教職員の任用に関することを含め、広く学校運営全般にわたり熟議できる環境であること、学校運営委員会の活動が円滑に進むよう、教育委員会と学校、地域が緊密に連携しながら、コミュニティ・スクールが定着していくことを期待している等、8項目について答えております。 次に、小学校のプール学習についての答弁では、プールが設置されていない市内3小学校は、青年センターのプールを利用していること、夏休み期間中の学校プール開放事業は、従前から小学校区を限定せず、どの開放校でも利用可能であり、特定の学校に対する利用補助は考えていないこと、江別第一小学校の水泳授業は、引き続き青年センターのプールを利用する考えであること、青年センターの維持管理と改修計画については、プール施設のない小学校の水泳授業の対応も含め、慎重に協議していくと答えています。 次に、いじめ・自殺防止のための相談体制についての答弁では、SNSを利用した相談の導入、児童生徒のSOSの出し方に関する教育の進め方については、今後、研究していくこと、いじめ・自殺防止の相談対応の充実に努めていくこと、学校、保護者、地域住民、関係機関等と連携し、新学期の自殺予防に取り組んでいきたいと答えています。 なお、答弁内容の詳細は、お手元の資料をご参照願います。以上であります。</p> |
| <p>月田教育長 林委員</p> | <p>ただいま報告のありました、平成29年第3回江別市議会定例会の一般質問について、質問等がございましたらお受けします。 化学物質対策の関係で質問が出ておりますけれども、シックスクール対策マニュアルができてから学校の塗料とか壁材には対応されていて、保護者の方にもある程度理解していただいているのかなと認識しておりますが、今回、このような質問が出たということは、参観日等で何かが頻繁に起きているという背景があるのでしょうか。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>渡部教育部長 月田教育長 須田委員</p> | <p>直接、教育委員会にそういった苦情等があったことはありません。 ほかに質問等はございますか。 複数校の学校運営委員になっている方が10人いるということなのですが、複数校というのは小学校と中学校ということでしょうか。それとも小学校で何校も委嘱を受けている方がいるのでしょうか。</p> |
| <p>渡部教育部長 月田教育長</p> | <p>多くは小学校と中学校とを連携する形で兼務する例があります。そのほか、複数の学校で学識経験者ということで委嘱されている方もいらっしゃいます。 大体は、小学校と中学校の兼務ということですね。 ほかに質問等はございますか。 (質疑終了) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)</p> |
| <p>天野生涯学習 課長</p> | <p>次に報告事項(2)平成29年度小中学生国内交流研修事業についての報告を求めます。 天野生涯学習課長お願いします。 平成29年度小中学生国内交流研修事業についてご説明いたします。 報告事項(2)の1ページをご覧ください。 今年度の事業については、10月10日から13日まで、3泊4日での実施を予定いたしております。 今回の訪問団のメンバーにつきましては記載のとおりですが、団長には、上江別小学校の橋本悟校長、児童生徒の引率として江別第三中学校の本間哲善教諭、江別第二小学校の黒田浩美教諭をお願いしております。また、担当の生涯学習課から、私、天野保則が同行いたします。 参加者は、小学5年生が9名、中学2年生が3名の合計12名です。各参加者は、今年度の派遣割当てに該当する小・中学校からそれぞれご推薦をいただき、名簿のとおり決定したものです。 なお、今年度からさらなる交流の促進を目的としまして、土佐市からの受入人数と同数となるよう、派遣人数を増員した経過がございます。 日程は裏面2ページに記載のとおりですが、訪問する児童生徒については、初日の10日、2日目の11日は、各家庭にホームステイをします。 11日は、今回の受入れ校であります高岡第一小学校、高岡中学校、戸波中学校、土佐南中学校で交流学習を中心とした学校生活の体験を行います。 また、後半の2日間については、ご覧のとおり、土佐市、高知市などにおいて、体験活動を中心に見聞を広めるプログラムとなっております。 8月24日に第1回目の事前研修会を行い、自己紹介の中でそれぞれ研修事業に臨む思いや意欲を発表し合った後、訪問計画や役割分担の確認、歓迎交流会の出し物を決定しました。9月5日と12日の研修では出し物の練習を、25日に最終の事前研修を行いました。 今後は、10月3日には市長への出発の挨拶を行い、交流研修事業本番を迎えることとなっております。</p> |
| <p>月田教育長 支部委員</p> | <p>以上でございます。 ただいま報告のありました、平成29年度小中学生国内交流研修事業について、質問等がございましたらお受けします。 質問ではないのですが、3日目のプログラムを見ますと、かつお節工場とか、和紙の工場を見学するというので、土佐の特産という江別では体験することができないようなものを体験できるように組み込まれているようです。非常に良いことだと感じています。</p> |
| <p>月田教育長 天野生涯学習 課長 月田教育長 須田委員</p> | <p>今年度は訪問する場所がだいぶ変わっていますよね。 例年、体験学習先としてみかん狩りがありました。体験学習先は、全て土佐市側で企画していますが、今年はみかん狩りの代わりにこうしたものが組み込まれているようです。 ほかに質問等はございますか。 ホームステイは、一つの家庭に1人ずつ行くのでしょうか。それとも何人かのグループで一つの家庭に行くのでしょうか。</p> |

| | |
|------------------------------------|---|
| <p>天野生涯学習課長 月田教育長 橋本委員</p> | <p>原則、1人を一つの家庭で受け入れていただいています。ただ、今回については2人を受け入れていただいている家庭が一つあります。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>昨年度より派遣人数が増えたというお話だったのですが、大体、2年に1回ぐらい各学校から行くチャンスが回ってくるという感じでしょうか。</p> |
| <p>天野生涯学習課長</p> | <p>各学校に推薦をお願いしていますが、中期的な割当ての計画を立てておりますので、毎年割り当てられている学校の中で推薦される仕組みになっております。一概に2年に1回ということではありませんが、市内の小中学校のバランスを考えて、割り当たっているという状況であります。</p> |
| <p>月田教育長</p> | <p>中学校は違いますが、小学校ですと9人ですので、大体2年に1回ぐらい回ってきますよね。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続いて、2の審議事項に入ります。</p> <p>(1)平成29年議案第30号 全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載同意についての説明を求めます。</p> |
| <p>廣田学校教育課長</p> | <p>廣田学校教育課長お願いします。</p> <p>議案第30号 全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載同意についてご説明いたします。</p> <p>全国学力・学習状況調査は、全国学力・学習状況調査に関する実施要領に基づき、小学6年生と中学3年生を対象に、児童生徒に対する教科に関する調査及び質問紙調査、並びに学校に対する質問紙調査を平成19年度から文部科学省が実施しているものです。</p> <p>平成26年度から、市町村教育委員会の同意を得た場合に、都道府県教育委員会が市町村名又は学校名を明らかにして調査結果を公表することが可能になったことを受けまして、平成26年度以降の調査結果については例年9月の定例教育委員会においてご承認をいただき、北海道教育委員会が作成した市町村名を明らかにした報告書において、江別市の結果が公表されてきております。</p> <p>まず、1の同意内容につきましては、北海道教育委員会が作成する全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」において、道教委による市町村名を明らかにした公表の基本フォーマットにより、江別市の結果を公表することとなります。</p> <p>2の同意理由につきましては、江別市教育委員会といたしましては、調査の結果を様々な角度から一定の数値によって分かりやすく公表することにより、学校・家庭・地域・行政が地域の学力の課題を共有し、教育施策の改善や児童生徒の学習状況の改善に取り組むことが重要であることから、北海道教育委員会の公表依頼に同意したいと考えております。</p> <p>なお、具体的な公表の内容につきましては、別紙資料に例が示されておりますのでご覧ください。</p> |
| <p>月田教育長</p> | <p>1ページの様式を基本フォーマットとして、2ページから3ページに記載されているデータ例を参考とした分析結果を掲載する形で作成され、各市町村につき、小学校分1枚、中学校分1枚が作成されるもので、昨年と同様の考え方による公表となります。</p> <p>公表の時期につきましては、11月をめどにしているとのこと。</p> <p>全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載につきましては、今後、公表内容等に大きな変更が生じない限り、今回ご承認いただいた結果をもとに、次年度以降も継続して、北海道教育委員会の公表依頼に同意してまいりたいと考えております。</p> <p>以上、ご説明いたしましたので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。</p> <p>北海道教育委員会から示された基本フォーマットに従って公表をしてほしいということ、江別市教育委員会として同意をしたいという議案ですが、いかがでしょうか。</p> |
| <p>橋本委員</p> | <p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>数年前から公表されていると思いますが、これまでに内容が変更されているようなことはありますか。</p> |

| | |
|------------------------------------|--|
| <p>廣田学校教育課長 月田教育長 支部委員</p> | <p>平成26年度からこの形で公表しておりますが、今年度まで大きな変更はありません。各市町村の特徴を記載する形で、公表されているところです。 ほかに質問等がございますか。 江別市の子供たちの結果が、全道的に同じようなフォーマットで比較できるということですが、指導を受けている子供たちにとっては、今、自分たちが道内でどのような位置にいるのか、あるいは教えている先生たちにとっても、自分たちがどのようなことに優れていて、どのようなところに弱点があるのかということを含めて、比較・検討するのに非常に良い内容ではないかと思えます。今後も公表を続けていくことを希望します。</p> |
| <p>月田教育長</p> | <p>ほかに質問等がございますか。 (質疑終了) この基本フォーマットに従いまして、今年度以降も公表していくという内容ですね。それでは、平成29年議案第30号 全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への掲載同意についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。 資料の2ページにある基本フォーマットに加えて掲載するデータについてですが、江別市は、左上にあるように平均正答率の数値を載せていますので、ご承知おきください。 続いて、3のその他、次回教育委員会予定案件及び日程について説明願います。 山崎総務課長お願いします。</p> |
| <p>山崎総務課長</p> | <p>次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、平成30年度予算編成方針について、平成29年度中学生国際交流事業（派遣）についてなどを予定しております。 また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、10月27日金曜日午後2時30分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p> |
| <p>月田教育長</p> | <p>ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は10月27日金曜日午後2時30分からということで、皆様よろしいですか。 (一同了承) 以上をもちまして、第9回定例教育委員会を終了いたします。 (閉会)</p> |

終了 午後2時24分

署名人（教育長） 月田 健二

署 名 人 橋本 幸子